

学校教育目標

かがやけ はばたけ こまばっ子 学びのその先へ

めあてをもつ

自分のめあてをもち ねばり強く取り組み振り返る

考えをもつ

自分の考えをもち 相手の考えを理解し伝え合う

よさに気付く

自分のよさに気付く 相手のよさをみとめ学びに生かす

一歩前へ<重点>

よさに気付き、主体的に生きる～今年の漢字「熊」から考える～

校長 石川 朋実

寒さ厳しき折、保護者の皆様、地域の皆様には、平素より本校の教育活動に深いご理解と温かいご協力を賜り、心より感謝申し上げます。先日の地域参観日には、多くの方にご来校いただきました。ある地域の方からの「毎年これほど大勢の方が？」という驚きに、児童館の館長さんが「昨年も同じでしたよ」と笑顔で応えてくださる場面があり、本校が地域に支えられていることを改めて実感する師走となりました。

さて、今年の世相を表す漢字は「熊」となりました。人里への出没という「脅威」だけでなく、この一文字は、予測不能で大きな力が働く現代社会の厳しさをも象徴しているように感じます。12月8日の青森県東方沖地震では、函館でも震度5強という激しい揺れに見舞われました。後発地震注意情報が出る緊張感の中、12日、授業中にも震度4の地震がありましたが、子どもたちは教職員の指示を冷静に聞き、互いに声を掛け合って迅速に行動していました。その凛とした姿に、私は子どもたちの確かな育ちと、困難に立ち向かう「生きる力」が培われていることを学びました。

この2学期、子どもたちは児童会活動を通じ、特別活動のねらいである「集団の一員として学校生活の充実と向上」を目指す主体性を遺憾なく発揮しました。代表委員会による「赤い羽根募金」では、皆様の温かなご支援により11458円が寄せられました。また、中休みに異学年で交流する「サンタさんのたからさがし」の企画、健康委員会の風邪予防のポスター掲示、図書委員会の「図書館まつり」、さらに放送委員会では3年生がアナウンスを体験できるようにするなど、どの活動も「自分たちの力でより良い学校を作ろう」とする自律的な姿に溢れていました。自分たちで課題を見つけ、話し合い、合意形成を図りながら実践する。このプロセスこそが、子どもたちの社会的な成長を支える大きな柱となります。

こうした主体性の根幹には、自分の価値を信じる「自己肯定感」と、他者の価値を認める「よさに気付く力」があります。自分と仲間の「よさ」を認め合い、感謝し、支え合う。この「繋がり」の中に幸福を見出す「日本型ウェルビーイング」の形が、今の駒場小学校には確かに息づいています。

不透明な時代ではありますが、予測不能な事態に自ら判断して立ち向かう強さと、仲間と手を取り合う優しさを持つ子どもたちが、新たな「未来の地図」を描こうとしています。彼らの主体的な歩みがある限り、2026年は必ず明るい未来となります。来る年も、本校の児童一人ひとりが自他の「よさ」を力に変え、健やかに成長してくれることを願っております。どうぞ、良い年をお迎えください。

2025年12月28日

赤い羽根共同募金
ご協力のお礼について

この募金は、赤い羽根共同募金へのご協力をいただき、誠にありがとうございます。
この募金は、私たちのまちの子どもや高齢者が安心して暮らせるために役に立ちます。
この募金にも、他費が掛かるともやほしくお礼を申し上げます。
いっしょの力で、よりよい社会を作ります。
みなさんのやさしい笑顔が、私たちのまちをよりよい未来へと導いてくださいます。
今後とも赤い羽根共同募金にご協力をお願いいたします。

駒場小学校 様
募金額 11,458 円

〒040-0201 函館市駒場1-1-1
TEL 0138-64-2224
函館市共同募金委員会

だいたいよいいんかいて、12月イベントがあります。こんかいやるのは「サンタさんのたからさがし」です。

ばしょ たいくかん

16日 3年生・6年生
17日 1年生・5年生
18日 2年生・4年生

なかやすみです。